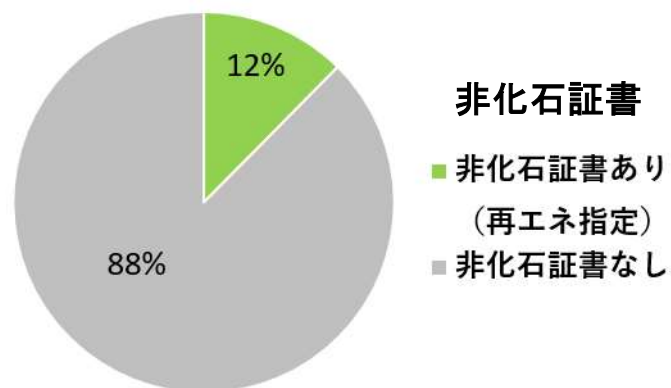


# 2022年度 電源構成

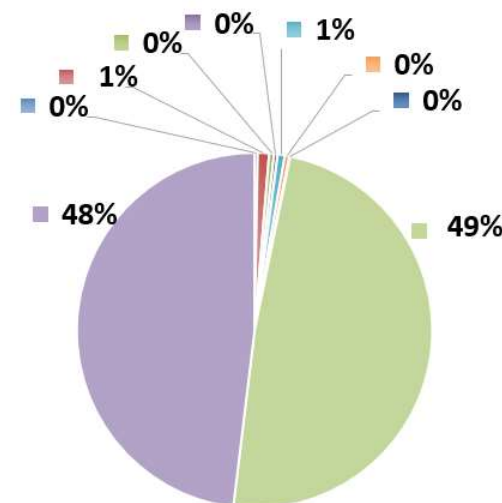
## 当社の非化石証書使用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日実績値



## 当社の電源構成

令和4年4月1日～令和5年3月31日実績値



## 電源構成

- 水力
- 石炭火力
- LNG火力
- 石油火力
- 原子力
- FIT電気 (※1)
- 再エネ
- 卸電力取引所 (※2)
- その他

当社は「リコー再エネスタンダード100」と、「リコー再エネエコノミー30」を提供しており、それ以外の電源構成及び非化石証書使用状況は上記のとおりです。

- (注1) 他社から調達した電気については、以下の方法により電源構成を仕分けています。  
 ①各電力会社の不特定の発電所から継続的に卸売を受けている電気(常時バックアップ)については、令和4年度の電源構成に基づき仕分けています。  
 ②他社から調達している電気の一部で発電所が特定できないものについては「その他」の取り扱いとしています。
- (注2) 当社の2022年度のCO2排出係数(調整後排出係数)のメニューAは0.000、メニューBは0.000、メニューCは0.271、メニューDは0.000、メニューEは0.370、メニューF(残差)は0.444です(単位:kg-CO2/kWh)。  
 当社は再エネ指定の非化石証書の使用により、リコー再エネスタンダード100とリコー再エネエコノミー30を含めて実質的に、再生可能エネルギー電気 14%の調達を実現しています。
- (注3) 0.5%未満の値は端数処理で0%と表示されます。端数処理のために合計値が100%にならない場合があります。  
 (注3) 電気事業者別排出係数R4実績 (2023年12月12日公表)などを基に作成。
- (※1) この電気を調達する費用の一部は、当社以外のお客様も含めて電気の利用者が負担する賦課金によって賄われており、CO2が排出されないことを始めとする再生可能エネルギーとしての価値を訴求するにあたっては、国の制度上、非化石証書の使用が必要とされています。当社が販売するFIT電気は、CO2排出量について火力発電なども含めた全国平均の電気のCO2排出量を持った値として扱われます。
- (※2) この電気には、水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

環境省の電気事業者別排出係数の契約種別メニュー  
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

リコージャパン(A0062)	プラン名
メニューA	-
メニューB	RE100スタンダード・再エネスタンダード100
メニューC	再エネエコノミー30
メニューD	CO2フリープラン
メニューE	-
メニューF(残差)	通常電力